

## 高齢者支援センター

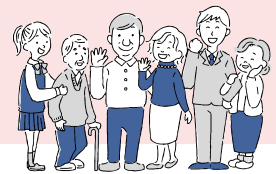
### 「認知症サポーター養成講座」を開催しませんか？

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かい目で見守る応援者のことを言います。何か特別なことをする必要はありません。

今後、ますます高齢化が進み、認知症の方も増えていくと言われる中で、医療や公的サービスだけでは地域での生活が支えきれなくなっていくことが予想されます。

この問題を解決するには、年齢を問わず多くの人に認知症に関する正しい知識と適切な対応方法を習得してもらい、地域の支え手（認知症サポーター）になってもらうことが有効な方法の一つです。その認知症サポーターを養成するための講座を、高齢者支援センターの職員が自治会や学校、職場などあらゆる場で開催しています。

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して、地元の集まりや団体、会社の研修の一環として、認知症サポーター養成講座を取り入れてみませんか？



#### ◆講座の内容

- ①認知症の原因、具体的症状
- ②対応の仕方・心がまえ
- ③認知症サポーターとは 等

主に講義形式で行いますが、DVD上映やグループワーク等も行う場合があります。

#### ◆所要時間

1時間～1時間30分程度

#### ◆対象

田原市内在住・在勤・通学の方（5人以上）

#### ◆講座の申込み・問合せ先

<各校区別高齢者支援センター>

**\*田原市社会福祉協議会** TEL45-3611

（野田小、赤羽根中、伊良湖岬小）

**\*あつみの郷** TEL22-6784

（田原中部小、衣笠小、田原南部小）

**\*福寿園** TEL27-0882

（東部中、童浦小、亀山小、中山小、福江小、清田小）



## 田原市生活ささえあいネット

田原市生活ささえあいネットは、毎日の生活の中で、ごみ出しやお話し相手などのちょっとした困りごとを、近隣のサポーター（支援者）さんにお手伝いしてもらい、そのお礼に地域通貨の「菜」をお渡しする「地域でささえあうボランティア活動」です。



### <生活ささえあいネットの考え方>

自分で頑張ることも大切ですが、一人の力ではどうしても限界があります。そんな時、ちょっとした困りごとを周りの方にサポートしてもらい、時には自分自身がサポートする側に回ることもできる「地域の中で人と人が支え合うしくみ」があると、暮らしやすいのではないのでしょうか。そのきっかけの一つとして、生活ささえあいネットがあります。



### <現在の様子>

現在、サポーター登録していただける方を募集しています。（登録後、すぐに活動がない場合もあります。）  
ここ数年は、ごみ出し支援が多くなっています。もやせるごみ・こわすごみについては、ささえあい専用ごみ袋（ピンク色）で前日にごみ出しができるようになりましたが、今後は資源ごみ（プラスチック、缶、瓶）のごみ出しの依頼が増えていくと考えられます。

「自分のごみ出しのついでに・・・」「散歩しながら・・・」など、自分のスタイルに合わせて活動したり、お一人で不安な方は、ペアやグループでの支援もできます。登録したら必ず依頼を受けるというものではありませんので、お気軽にお問い合わせください。



問合せ 田原市社会福祉協議会 和田 TEL23-0610 Mail : info@tahara-shakyo.or.jp

